

# 議会報告会 会場報告書

担当班： 第2班 班代表者：稲山 悟

概 要			
地区名：丹南地区 日時：令和6年11月16日（土） 午前10時～午後11時40分 場所：丹南健康福祉センター 参加人数：9人（男8人・女1人）	<b>【出席議員】</b> 稲山 悟 金崎美和 小島政行 安井博幸 野々村康 本多紀元	(1) 開会あいさつ：稲山 悟 (2) 議会報告：小島 政行 (3) 質疑応答：適宜 (4) 意見・提言等：適宜 (5) 閉会あいさつ：安井 博幸	挨拶・総括：稲山 悟 司会進行：安井 博幸 報告：稲山 悟・金崎 美和 記録：野々村 康・本多紀元 会場（マイク）：金崎 美和

## 【主な質疑】

質疑・意見（第一部 議会報告について）	回 答
資料5頁の補正予算について、市議会が必要な調査研究経費とあるが、そのようなことは執行者が行うべきことでないか。	資料の表現が分かりにくいものであったなら、今後気をつけていく。調査研究費は、主に資料9頁のささやま医療センター存続問題にかかるコンサル委託料で、執行部が行うものである。
観光客誘致促進事業について、京都ではインバウンドによるオーバーツーリズムとなっている。丹波篠山市においても対策を考えるべきでないか。	インバウンドが進み、対策が必要な状況になれば、執行部と協調して対応を検討したい。
「廃棄物の処理及び清掃に関する条例」の一部改正について、令和7年7月から事業活動による埋立廃棄物は清掃センターで受け入れないと改正されたが、事業活動により生じたとは何を意味するのか。また、清掃センターで受入されなかったものはどのように処理されるのか。	事業活動により生じた埋立廃棄物とは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定められた本来市が処理に関して責務を負わない産業廃棄物を指し、清掃センターで受入が出来なくなると民間の処理施設で処理いただくこととなる。
コンサルタント委託をよく使われているが、その費用及び件数はわかるか。国際博に関してコンサルタント委託は行われているか。	近年では、市名変更の効果に関する調査、兵庫医大と岡本病院統合による市立病院化等医療提供体制及び国際博の企画立案など、専門的な知識が必要なものについてはコンサルタント委託を行っている。委託費と件数については掌握していない。

<p>国際博の費用について、神戸新聞に事業規模が1億なんぼとか、他にも7千万円との金額が出ていたが、15頁の万博推進事業1億3千万円と金額が違う。それは、事業の内容等が違うということか。</p>	<p>内容が違うもので合わない。</p>
<p>12頁の環境衛生費補正額が8千円と少額であるが間違いでは無いか。</p>	<p>13ページの「デカンショポイント」にかかるポイント付与金額で誤りは無い。</p>
<p>環境衛生費補正額が8千円について、少額であり補正すべきものであるのか。</p>	<p>デカンショポイントとしては、今後各課の取組みを合わせた総体として大きな金額となっていくが、まずは環境衛生費の資源ゴミ回収に関する地域ポイント付与から着手するにあたり、議会の承認を求めたものと理解している。</p>

A 子育て・教育支援のために必要なこと

【参加者意見・ソフト】

- ・地域連携（子供の維持、少子化対策）
- ・学校統合と少人数制（学校選択制、部活の地域移行）
- ・子育て世代の働き方（環境創り、小時間労働、アンケート）
- ・保育所（保留児童対策、学童充実、職場との近接）
- ・人材・教員（教職員の増、人材確保、資質向上、味小に養護教諭2名を）

B Aを実現するための課題と対策

【『課題』参加者意見・ソフト】

- ・地域と学校等の連携不足、担い手不足
- ・小規模校の少人数対策が必要
- ・保留児童の存在
- ・人材不足

【『対策』参加者意見・ソフト】

- ・学校広報、見守り子守、交流、キャリア教育
- ・一局集中研究、学校選択、コンパクトシティ
- ・働きやすい環境創り
- ・希望者全員入所
- ・保育士有資格者の就労・現役復帰、人材確保

【参加者意見・ハード】

- ・通学路の安全対策（自転車道の整備）
- ・学校施設整備（トイレ洋式化、体育館空調）

【『課題』参加者意見・ハード】

- ・防犯対策（灯設置）、スクールバス増
- ・トイレの回収

【『対策』参加者意見・ハード】

- ・市の予算確保
- ・市の予算確保

A 子育て教育のために必要なこと

- ・少子化と人口集中地域の格差是正、教育環境の充実

B 解決するために必要なこと

- ・地域によって人が集まる場所、人が減っていく場所の原因が明確になっていないのでその研究が第一である。それを元に具体的な対策を取るべきである。



【考察】参加者の意見から見えるもの

- ・人口集中地域と過疎化地域の原因究明から、それぞれの地域環境を活かした教育の充実を目指し、無理な統廃合でなく、連携によって子育て環境の充実に取り組んでいく必要がある。

**A 子育て・教育支援のために必要なこと**

**【参加者意見・ソフト】**

- ・中学生トライやる事業維持拡充（継続、事業所拡大）
- ・インターンシップ充実
- ・中学校の部活終了時間と最終下校時間の整合
- ・丹南中学校の時間割を保護者に配布してほしい
- ・親が働いていなどども園 2 時まで預かりに限定
- ・情報教育、芸術教育の充実、高校文化授業選択・確保
- ・クラブ活動活性化・市内産婦人科減

**B Aを実現するための課題と対策**

**【『課題』 参加者意見・ソフト】**  
(A と整合しない)

- ・東雲高校テスト中バス運行整合
- ・高校合併問題
- ・いじめ不登校対策
- ・味小保健担当不足

**【『対策』 参加者意見・ソフト】**  
(A と整合しない)

- ・市バス利用で増便
- ・市内高校希望するよう魅力の増強
- ・通学時見守り、あいさつ運動
- ・予算確保で 2 名体制、パート非常勤制度活用

**【参加者意見・ハード】**

- ・市内高校生のための通学バスの不足

**【『課題』 参加者意見・ハード】**

- ・特にテスト中などの変則時間帯への対応

**【『対策』 参加者意見・ハード】**

- ・市バス等を活用した増便

**A 子育て教育のために必要なこと**

- ・市内中、高生のバス通が不便で充実が求められる。

**B 解決するために必要なこと**

- ・市バスやその他公共交通機関の活用を検討する。



**【考察】 参加者の意見から見えるもの**

- ・中学生に人気があり将来の市内就労に効果が想定される中学生のトライやる事業の参加事業所が減少しているとの意見があり、参加事業の確保、拡大が必要である。
- ・市内高校への公共交通機関の充実を求める声があり、特にテスト期間中などの対策を検討する必要がある。